

新聞週間特集

自由社会に欠かせぬ存在

道具としてのメディア

共産主義崩壊とマスコミ

米ランド フランシス・フクヤマ氏に聞く



一九五二年生まれの日系三世。米ハーバード大学からソ連研究で博士号を得て...

ソ連・東欧の共産主義体制の崩壊にマスコミの果たした役割について米ランド研究所顧問のフランシス・フクヤマ氏にインタビューした。

機能は思想の伝達

あなたが二年前に発表した論文『歴史の終わり』は共産主義の崩壊と自由民主主義の世界的な広がりを予言して、国際的に波紋を呼んだが、その究極のイデオロギーともいえるべき自由民主主義とは何なのか。

伝える内容が問題

マスコミは時代が異なればファシズムさえ普及するといわなければならない。一九三〇年代を思い起こしてほしい。



東京外語大教授 中島嶺雄氏

台湾の経済的、社会的発展に伴い、その国際的役割は極めて大きくなっており、今日、台湾を抜きにしてアジア太平洋地域の将来は語れない。

独自の中国・台湾報道

中国の将来に重要な意義をもつ。経済改革とともに政治改革を進めることは、大きなリスクを伴う。

西側報道で自らを知る ソ連



「うのみ」報道の時代

先に西側メディアが草率めくような役割を果たした自由民主主義の普及のため、さなかつたという側面も極めて強かつたのだ。

西側の左寄り、リベラルとされるマスコミを利用して、連携し、共産システムを非難する...